



(プレスリリース)

2021年09月08日

地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合

組合メンバー会社： 天草エアライン株式会社  
オリエンタルエアブリッジ株式会社  
日本エアコミューター株式会社  
全日本空輸株式会社  
日本航空株式会社

## 地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合(EAS LLP) メンバー5社による共同プロモーションの開始について

地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合(EAS LLP)のメンバー会社である、天草エアライン株式会社(本社：熊本県天草市、代表取締役社長：永岡 真)、オリエンタルエアブリッジ株式会社(本社：長崎県大村市、代表取締役社長：大人形 綱邦)、日本エアコミューター株式会社(本社：鹿児島県霧島市、代表取締役社長：越智 健一郎)、全日本空輸株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：平子 裕志)、日本航空株式会社(本社：東京都品川区、代表取締役社長：赤坂 祐二)の5社は、本日2021年9月8日より、アフターコロナに向けて就航地域の魅力を訴求し離島生活路線等の航空路線販売を促進するための共同プロモーションを開始いたします。

### 1. 共同プロモーション概要

- ① 実施時期 2021年9月8日~2022年3月31日
- ② 実施内容

- ◆EASLLPメンバー会社において、統一したテーマを掲げて、それぞれの就航地域の自然景観、生活文化、伝統的歴史等の観光資源やその魅力を紹介する他、商品・サービスの紹介等に関する情報を発信してまいります。
- ◆まず第一弾として2021年9月8日より、「世界遺産」を共通テーマといたしまして、地域3社の就航地における世界遺産とそれぞれに特徴ある奥深い魅力を紹介してまいります。
- ◆第二弾以降は、「食」など、離島地域の特色を活かした統一テーマの設定を行い、就航地域への関心を高め地域航空利用促進につながる情報発信を行っていく予定です。

- ③ 告知媒体

メンバー各社のSNS (Facebook、Instagram、Twitter) や自社媒体





## 2. EASLLP 概要

- ① 名称 地域航空サービスアライアンス 有限責任事業組合  
(英語表記 : Essential Air Service Alliance LLP、略記 : EAS LLP)
- ② 所在地 : 東京都港区新橋 2-11-10
- ③ 設立 : 2019 年 10 月 25 日  
活動期間は 4 年間の予定で、3 年を経過した時点で取組状況を検証し、以降の対応を協議することとしております。
- ④ 組合員構成 : 天草エアライン株式会社 (AMX)  
オリエンタルエアブリッジ株式会社 (ORC)  
日本エアコミューター株式会社 (JAC)  
全日本空輸株式会社 (ANA)  
日本航空株式会社 (JAL)
- ⑤ 設立目的 : 離島やそれに準じる地域の生活に重要な役割を果たす路線を持続可能とするために、地域航空各社の経営の独自性は維持しつつ、安全推進体制の確立と安定的な運航確保ならびに効率化を目指したあらゆる協業深化の取り組みを、大手 2 社の協力を得つつ早期に促進していくことを目的として当事業組合を設立しました。
- ⑥ 事業の概要 : 地域航空社間の協業を促進する次の事業に取り組みます。
  - ◆安全基盤の確立と安定運航確保のための航空技術協力の推進に関する業務
  - ◆営業販売強化の推進に関する業務
  - ◆各種調達の効率化の推進に関する業務
  - ◆業務共通化及び人員協力の推進に関する業務
  - ◆前各号に付帯又は関連する一切の業務

### <報道機関お問い合わせ先>

EASLLP 事務局 畑山 070-3937-7878  
伊達 070-4874-6145

### 【メンバー各社】

天草エアライン株式会社 (AMX)	営業部	0969-57-6000
オリエンタルエアブリッジ株式会社 (ORC)	総務部	0957-53-6692
日本エアコミューター株式会社 (JAC)	総務部	0995-58-2151
全日本空輸株式会社 (ANA)	広報部	03-6735-1111
日本航空株式会社 (JAL)	広報部	03-5460-3105

### <各社 Facebook URL>

AMX : <https://www.facebook.com/mizoka.atr42/>  
ORC : <https://www.facebook.com/OrientalAirBridge/>  
ANA : <https://www.facebook.com/ana.japan/>  
JAC/JAL : <https://www.facebook.com/jal.japan>  
LLP : <https://www.facebook.com/EASLLP1/>

以上

## 【参考 1】

### ◆長崎・熊本・鹿児島県にある世界（文化・自然）遺産の概要

EASLLP メンバーの地域航空 3 社がベースを置く長崎県、熊本県、鹿児島県には、以下の通り、登録された世界遺産の構成資産がございます。

#### 3 県のホームページより（登録年順）

##### ➤ 「屋久島」（1993 年登録、鹿児島）

屋久島は、九州本島最南端の佐多岬から南南西へ約 60 キロの温暖な黒潮の中に九州最高峰の宮之浦岳（標高 1,936 メートル）をはじめ険しい山々が屹立する周囲約 130 キロの島です。屋久島世界遺産地域は、世界的にも稀な樹齢数千年のヤクスギや、多くの固有種や絶滅のおそれのある動植物などを含む多様な生物相を有するとともに、海岸部の暖温帯から山頂部の冷温帯に及ぶ植生の典型的な垂直分布が見られるなど、特異な生態系と優れた自然景観を有していることを評価され、平成 5 年 12 月、青森・秋田両県にまたがる白神山地とともに、我が国で初めて世界自然遺産に登録されました。

##### ➤ 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」（2015 年登録、岩手・静岡・山口・福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿児島）

日本の近代化は、非西洋地域において、最初でかつ極めて短期間のうちに飛躍的に発展を遂げたという点で世界史的にも特筆すべきものです。その原動力となったのが九州・山口です。九州・山口を中心とする近代化産業遺産群は、鉄鋼・造船・石炭工業の重工業部門に西洋技術を移転する上で他に類を見ないプロセスを証明する遺産群であり、また非西洋地域において近代化の先駆けをなした経済大国日本の原点を訪ね、語り継いでいく上で、極めて重要な遺産群です。

##### ➤ 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（2018 年登録、長崎・熊本）

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、17 世紀から 19 世紀の 2 世紀以上にわたるキリスト教禁教政策の下で、ひそかに信仰を伝えた人々の歴史を物語る他に例を見ない証拠です。長崎と天草地方の潜伏キリシタンが「潜伏」したきっかけや、信仰の実践と共同体の維持のためにひそかに行った様々な試み、そして宣教師との接触により転機を迎え、「潜伏」が終わりを迎えるまでを 12 の構成資産によって表わしている貴重な遺産です。

##### ➤ 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」（2021 年登録、鹿児島・沖縄）

奄美群島は、九州本土の南に点在するトカラ列島と沖縄諸島の間に関連する奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島の 8 つの有人島からなる島々で、アマミノクロウサギなどの希少野生動植物が生息・生育する亜熱帯の森や美しいサンゴ礁などが多くの人々を魅了しています。こうした奄美群島の豊かな自然は、日本を代表する優れた自然の風景地として評価され、平成 29 年 3 月に「奄美群島国立公園」が誕生しました。鹿児島県では、希少野生生物の保護や外来種対策、「世界自然遺産奄美トレイル」の設定、利用のルールづくり等の利用適正化対策、自然環境に配慮した公共事業の推進、住民の気運の醸成などに取り組み、令和 3 年 7 月 26 日に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の審議が行われ、世界遺産一覧表への記載が決定されました。

\* 詳細は各県のホームページをご参照下さい。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/22/>

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/sekaiisan/>

<http://www.pref.kagoshima.jp/miryoku/isan.html>

【参考2】

